

令和2年12月17日

保護者の皆様

奈良市立登美ヶ丘北中学校
校長 岩井 宏之

教育活動アンケートの結果と今後の取組について

厳寒の候、保護者の皆様におかれましては益々ご清祥のことと存じます。平素は本校の教育活動にご理解ご協力を賜り、ありがとうございます。

さて、先月に実施いたしました教育活動アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。アンケート結果を分析し、今年度のコロナ禍における特徴的なご意見を下記の通りまとめましたのでご覧ください。また、このほかにも貴重なご意見を多数いただいておりますので、今後の教育活動に生かしていきたいと考えております。

なお、アンケート結果につきましてはホームページに掲載しておりますので、併せてご覧いただきたく存じます。今後ともご理解ご協力をお願いいたします。

記

1 新型コロナウイルス感染症対策に伴う、各種行事の中止・変更について

本年度は、昨年度末からの新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、各種学校行事の中止や内容の大幅な変更等を行わざるを得ない、大変な年となりました。現在も感染拡大が続いており、それに伴う感染症対策もまだ緩めることができない状況です。こうした中、やむを得ず中止となった職場体験や、授業参観といった学校行事もあり、残念であったとの声もいただいております。一方、こうした中でも、市教委等から出されるガイドラインに従いつつ、その枠内で出来る限りの活動を生徒と共に作り上げていこうとした成果を、文化交流会や、スポーツフェスティバル、また、修学旅行や校外学習という形で残すことができました。今後もこのような状況が続くことが懸念されますので、感染症対策を念頭に置きつつ、生徒が全力で、主体的に取り組める活動や環境を、引き続き学校が用意できるよう計画を進めてまいります。

2 GIGA スクール構想に伴う、生徒用端末の配布と活用及び授業改革について

「ICTを基盤とした先端技術を活用して、子供の力を最大限に引き出す学びを実現する」ことを目的とし、生徒一人1台のPCの配布と、高速大容量の通信ネットワークを学校に整備するという、「GIGAスクール構想」が、この新型コロナウイルス感染症による、全国の学校の休校措置に応じて計画を前倒しして進められています。本校生徒にも2学期半ばごろに生徒用端末の配布が行われ、今回の教育活動アンケートや、各授業などで少しずつ使用が始まってきています。昨年に比べ、授業でPCに触れる機会は多くなったはずですが、生徒のアンケートを見ると、「授業でPCを使っている」という設問に対して、あまり変化が表れていません。これは、「もっと授業でPCを使えると思っていたのに、使えていない」と考える生徒が多くいるからではないかと考えられます。現在、奈良市が通信環境の整備を進めているところですが、Wi-Fi環境の脆弱さから、まだ全校規模で同時に使うとPCの動作が止まってしまう状況です。今年度末には整備が終了するということですので、こうした環境の整備と並行して、これからの教育にあわせ、授業の中での効率的なPCの活用ができるよう、全教員が研修を重ねてまいります。